

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局地方道・環境課
担当課長名：吉崎 収

事業名	地域高規格道路 熊本環状道路 一般県道 砂原四方寄線 花園工区	事業区分	地方道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県熊本市花園 至：熊本県熊本市下硯川町	延長	4.1 km		
事業概要	<p>県道砂原四方寄線は熊本都市圏の骨格を形成する「2環状11放射道路網」の外環状のうち、その西側を構成する延長12 kmの地域高規格道路である。現在、熊本都市圏では国道3号等が都心部を通っており、著しい渋滞が生じている状況にあるため、その渋滞解消を目的とする道路である。花園工区は12 kmのうち北側の4.1 km区間である。</p>				
H11年度事業化	H11年度都市計画決定	H13年度用地着手	H14年度工事着手		
全体事業費	175億円	事業進捗率	49%	供用済延長	0 km
計画交通量	17,600台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.8 (残事業) 8.2	総費用 (事業費) 77/170億円 (維持管理費) 2.4/2.4億円	総便益 (走行時間短縮便益) 560/560億円 (走行経費減少便益) 66/66億円 (交通事故減少便益) 26/26億円	基準年 平成20年	
感度分析の結果	<p>残事業について、感度分析を実施 交通量変動：B/C=7.4(-10%)~9.0(+10%)、事業費変動：B/C=9.1(-10%)~7.5(+10%) 事業期間変動：B/C=8.5(-20%)~8.2(+20%)</p>				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市中心部に入り込む通過交通量を減少させ、交通渋滞の緩和、環境改善に効果を発揮する。 熊本市西部地域の利便性が向上する。 				
関係する地方公共団体等の意見	<p>熊本市をはじめとする関係市町の首長等で構成された「地域高規格熊本環状道路建設促進期成会」から、本線の早期完成が要望されている。</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>現在も熊本都市圏の交通渋滞は発生しており、本事業の必要性は変わらない。</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成19年度までに、約58%の用地取得が完了しており、工事については平成19年3月に3号トンネルが完成している。今後、用地買収や工事の促進を図り事業の進捗を図る。</p>				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>道路の規模が大きく用地買収幅が広いため、ルート変更の意見が出されるなど用地交渉が難航していたが、概ね了承を得ることができた。平成27年度の暫定2車の供用を目指す。</p>				
施設の構造や工法の変更等	<p>再生資材や現場発生土の積極的な利活用を進め、工事コストの縮減を図っている。</p>				
対応方針	継続				
対応方針決定の理由	<p>交通混雑解消等を目的とした当該事業による整備は費用対効果の面から見ても十分な投資効果が発現でき、事業期間は延伸したものの順調な推進が見込まれる。</p>				
事業概要図	<p>全体計画延長 L=12.0km 計画延長 L=4.1km</p>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。